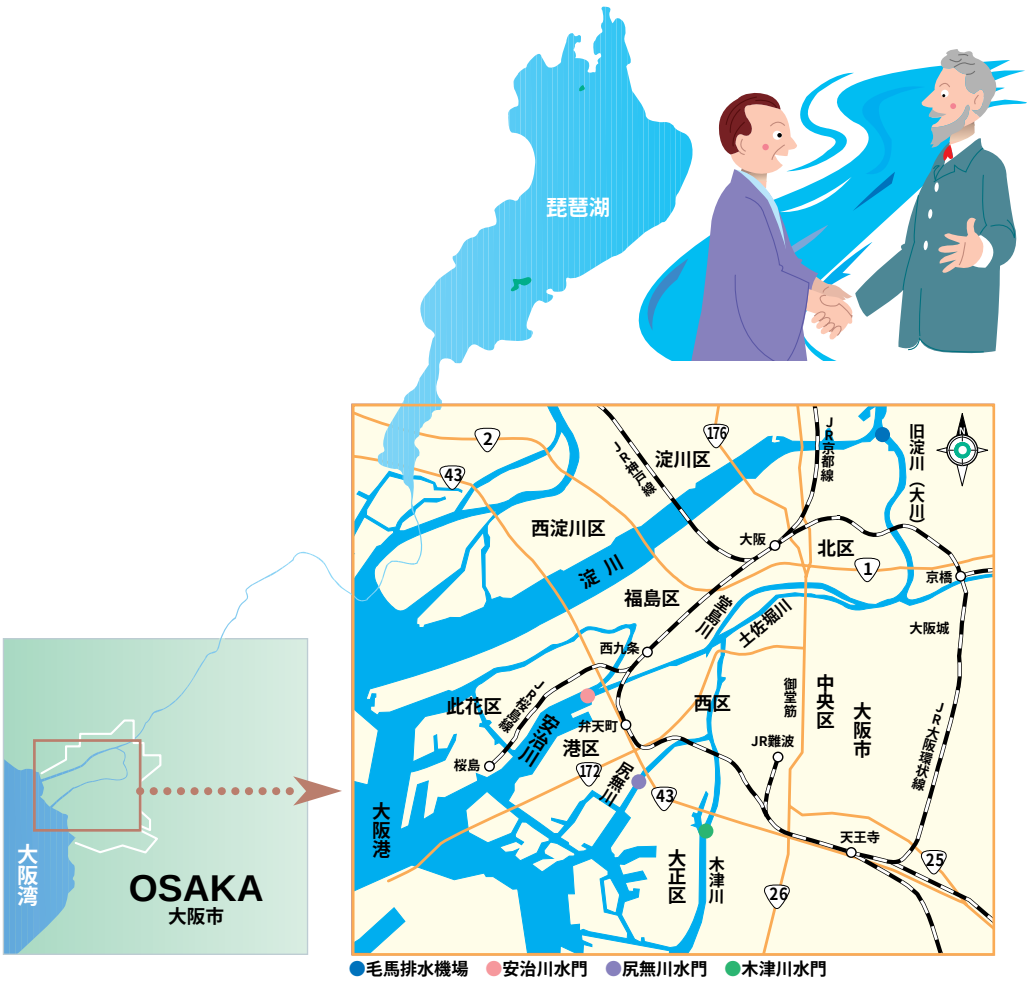
THE STORY OF PEOPLE & AQUA

人と水の物語

しばしば起こっていた淀川下流部の氾濫を防ぐために、
貞享元年より河村瑞賢の手によって開削された「安治川」。
明治30年にはオランダ人技師デ・レーケの大阪築港計画を基本とする
安治川河口の築港工事がスタート。これをひとつの契機に、
商都大阪の繁栄のもととなる近代化が始まりました。



河村瑞賢

デ・レーケ